

# 消防士4人全国大会入賞

## 広島市で第42回全国消防救助技術大会



全国大会の緊張の中、競技を行う高遊原南消防署の選手



大会後、表彰状を持ち帰った選手のみなさん



スタート前の様子

広島市総合屋内プールで8月22日、訓練を積んだ全国の消防士の技術向上などを目的とした全国消防救助技術大会が開催されました。

一般財団法人全国消防協会が主催し開催されている全国大会は、昭和47年から行われており、今大会で42回目を数えます。高遊原南消防署から選ばれた

西岡治彦隊員、荒牧竜治隊員、土田潤也隊員、片山誠也隊員の4人が大会に出場。全国の消防署から強豪が集う中、団体競技「水中検索救助」で4人出場し入賞、個人競技「複合検索」に出場した西岡隊員、荒牧隊員がそれぞれ好タイムを出し、みごと表彰を受けました。

同月27日、受賞した隊員らは結果を報告しに来庁。引率した住川豊消防長は「今大会も地道に訓練を続けてきた成果が成績に表れた。全国に名を馳せる高遊原南消防署の伝統をこれからも守っていききたい」と住永町長に報告。

町長は「全国でも優秀な隊員が集う高遊原南消防署を誇りに思う。今回の報告を受けてうれしい気持ちでいっぱい。結果に捕われることなく、気持ちを新たに日々の訓練にまい進して欲しい」と喜びの気持ちを伝えました。

## 食品表示を巡回指導

### 空港内の食品販売店を監視



食品表示の説明を受け巡回する監視員

御船保健所長から一日食品衛生監視員の委嘱を受けた町健康を守る婦人の会(富田セツコ会長)の会員6人が阿蘇くまもと空港内の食品販売店で8月29日、消費者代表として、食品表示の巡回指導を行いました。

「くまもと食の安全安心のための基本方針」に基づく巡回指導は、食品表示の違反を取り締まり、食の安全を確保するため毎年行われており、同会員は食品表示の注意事項などの講習を受けた後、2つの班に分かれ、空港内の食品販売店をくまなく巡回しました。巡回指導を終えた富田会長は「今回の巡回では不適切な表示はなかった。賞味期限などの食品表示について説明を受けながらの巡回は、私たちも勉強になった。今後の消費生活に生かしていきたい」と振り返りました。